

よう来てごしなった！ 沖縄読谷村子ども会



米子ハイツでの歓迎会

2/10(金)～13(月)『沖縄県読谷村子ども会』と交流しました。

読谷村子ども会員27名、ジュニアリーダー2名、引率4名を迎え、スキー、芸能交流、そして各地区で趣向をこらした子ども会活動を一緒に楽しみました。

地区、単位、役員、育成者が一丸となって取り組み、にぎやかにとり行うことができました。

市子連だより 第3号

一緒にしゅいや！子ども会

発行所 米子市子ども会連合会
米子市東町161-2
米子市教育委員会生涯学習課内
発行日 平成18年3月



読谷 エイサー

冬の交流日程
2/10(金) 歓迎会、民泊家族対面
2/11(土) スキー、芸能交流会
2/12(日) 地区、単位子ども会との交流や民泊家庭と交流
2/13(月) お別れ式



地区交流もちつき①



米子 さんこ節



スキー交流



地区交流もちつき②



全員で「紅芋娘」大合唱

☆地区、単位子ども会交流
餅つき、昔遊び、雪だるま作り
かまくら遊び、方言ゲーム等・・・
各地区、単位子ども会の皆様、
ご協力ありがとうございました



お別れ式

これからも交流を続けたいね・・・

～1年間をふりかえって～

各地区から寄せられた、子ども会についての意見

(子ども大会終了後のアンケートより)

各地区の日頃の活動紹介とか子ども会同士の交流会を行う

企画・準備段階から子ども達と一緒にすれば、その子を通して、学校にも広まり、積極的に参加するのではないかと

研修会に各地区の子ども会長が参加できるように、回数を増す必要がある

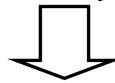
子ども会単位の出し物をする。子ども会単位で参加する。

まず、子ども会の事を子どものリーダーに認識させる必要がある。子どもが地区に帰って説明できるように

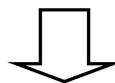
子どもの感覚で「おもしろそう」と感じる内容にしたい。

子どもも保護者も自分の時間を優先し、子ども会に加入しない人がいて、子ども会の運営自体が難しくなってきたが育成者研修で理解を深めれば参加を促す事ができる。

ジュニアリーダーが積極的に参加して活躍しているのが頼もしかった。



- 子ども会のことをもっと知ろう
- 「市子連研修」→「単位子ども会での実践」のくりかえし
- 親と子の共育ち



～来年度に向けての展望～

育成者研修

- ・ブロック別研修
- ・夏休みに使える実技研修
- ・県子連研修参加
- ・年間計画の立て方について

子ども会リーダー育成研修

「研修」⇒「実践」をくりかえす

- ・子ども会ってなあに？
- ・年間スケジュール、「ねらい」の説明
- ・キャンプ
- ・読谷村との夏の交流
- ・子ども大会
- ・読谷村との冬の交流
- ・各地区、単位子ども会での実践